

BACCALAURÉAT GÉNÉRAL

SESSION 2003

JAPONAIS

Langue vivante 2

Série S

Durée de l'épreuve : 2 heures – Coefficient : 2

L'usage de la calculatrice et du dictionnaire est interdit.

Dès que ce sujet vous est remis, assurez-vous qu'il est complet.

Ce sujet comporte 2 pages numérotées de 1/2 à 2/2

Barème de notation

Compréhension	10 points
Expression	10 points

日本人と肉

最近日本人はよく肉を食べます。でも、その習慣はあまり古くありません。昔は、仏教のえいきょうで、日本人は四つ足の家畜¹を食べてはいけませんでした。日本のまわりは海なので、肉のかわりに日本人は魚や貝をたくさん食べていました。

江戸時代²、長崎でオランダ人がぶたを飼って³、ハムやソーセージを作っていました。また、おきなわでは中国から来た人がぶた肉を使った料理をよく作っていました。でも、ふつうの日本人がぶた肉を食べるようになったのは明治時代⁴になってからです。

明治時代になって、アメリカ人やヨーロッパ人がおおぜい日本に来るようになりました。彼らはよく肉を食べました。そして、日本人もだんだん牛肉を食べるようになりました。すきやきもそのころからの料理です。神戸では肉をやわらかくするために牛にビールを飲ませています。だから神戸牛のステーキはおいしいですが、とても高いです。

にわとりは四つ足の家畜¹ではないので、ぶた肉や牛肉よりもっと早くから食べられていたようです。室町時代⁵のおわりごろか、江戸時代の初めごろから食べられていたらしいです。でも、ふつうの日本人がよくとり肉を食べるようになったのは、江戸時代のおわりごろだそうです。江戸時代の料理の本を読むと、とり肉の料理についてはあまり書いてありません。でも、たまごの料理についてはいろいろと書いてあります。たぶん、たまごを食べる習慣¹のほうが早く始まったのでしょうか。

さて、ひつじ⁶の肉ですが、これはもっと新しい食べ物です。せまい日本にはひつじを飼う場所はありません。今、日本のスーパーで売られているひつじの肉は、ほとんどオーストラリアやニュージーランドからの輸入品⁷です。

¹ animal domestique

² 1603-1868

³ élever

⁴ 1868-1912

⁵ 1338-1573

⁶ mouton

⁷ produit importé

COMPRÉHENSION

1. むかし、日本人は肉をたくさん食べましたか。それはどうしてですか。
2. ぶた肉はだれが、いつごろ日本へもってきましたか。
3. 神戸^{こうべ}牛の肉はどうしてやわらかいのですか。
4. 日本人はどこからひつじの肉を輸入^{ゆにゆう}しますか。それはどうしてですか。
5. ふつうの日本人が肉を食べるようになったのはいつごろからですか。
6. Traduisez en français de la ligne 1 à la ligne 3 (de 最近 à 食べていました).

EXPRESSION

Veillez traiter le sujet suivant.

あなたの食生活^{しょくせいかつ} (habitudes alimentaires) について書いてください。(200 signes)